

11月給食だよ！

令和5年11月
武里中学校

ほし この地球をきらめかせるエナジー

あい こころ し こと
愛は心の仕事です！

何を聞いても
Ichi-Bang-Bang!



だんだんと寒くなってきました。冬に向けての準備はしていますか。11月は期末テストがあります。風邪を引かないよう食事をしっかりととりベストの状態を臨みましょう。

11月23日は「勤労感謝の日」です。その名が示すようにはたらく人々への感謝を表す日です。もともとはその年の収穫に感謝を捧げる日でした。これからも食べ物のいのちに、そして人々のはたらきや思いやりに、また生命を育む地球にも愛をもって感謝する日にしたいですね。



彩の国ふるさと学校給食月間

埼玉県では11月を「彩の国ふるさと学校給食月間」としています。収穫の秋に地元埼玉県産の食材を取り入れることにより、地元産の食材について理解し、ふるさとへの愛着を深めようというものです。

給食では、埼玉産の農産物を多く取り入れています。みなさんの通学路にもたくさん畑がありますよね。この機会に、今どんな野菜が育っているか観察してみてください。他に、どんな野菜が埼玉県で作られているか八百屋さんやスーパーなどでも探して見ましょう。

かんしゃ
いのちに感謝！
「いただきます」



食べ物は、もとはすべて生き物です。そのいのちをいただいて、私たちのいのちをつないでいることをあらためて考えてみたいですね。

ひと かんしゃ
人に感謝！
「ごちそうさま」



見えるところだけでなく見えない場所でのいろいろな人の力が食生活を支えます。「馳走」はそうした人のはたらきに感謝する言葉でした。

おも かんしゃ
思いに感謝！
「ありがとう」



優しい気持ちで自分たちの成長を見守ってくれている、家族の人、学校の先生、そして私たちの学びや学校給食を支えている多くの市民の方の協力についても考えてみましょう。

ちきゅう かんしゃ
地球に感謝！
ワンヘルス
「One Health」



新型コロナウイルスをきっかけに、人間だけでなく、人も動物も含めた地球環境すべての健康を守っていくことが大切だという考え方、「One Health」が広がっています。地球市民の一人として私たちができることも考えてみましょう。

ユネスコ無形文化遺産 和食；日本人の伝統的な食文化登録から10年

2013年に和食がユネスコ無形文化遺産に登録されてから、今年で10年です。和食は、多様で新鮮な食材を使い、一汁三菜を基本として栄養バランスがよく、食事の場における「自然の美しさ」の表現や年中行事・人生儀礼との密接な結びつきがあります。11月24日の「和食の日」には、和食のよさについて考えてみませんか。


